

1億円「思ったより軽い」

大垣西濃信金 親子金融教室 児童、札束抱える



1億円分の札束を持つ子どもら＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫

大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫で、恒例の「夏休み親子金融教室」が開かれ、小学生の親子計64人が金融の仕組みを学んだ。幼いころから正しい金融の知識を身に付けてもらおうと、毎年開いている。

岐阜大教育学部の大藪千穂教授が講師を務め、参加者がお金の種類や役割、働くことの

意味について学んだ。1億円分の1万円札の束(約10キ)も用意され、子どもたちが両手で抱えながら重さを実感していた。

生津小学校6年の吉田悠真君(11)は「1億円分の束は思った以上に軽かった。お金が世の中を回っていることがよく分かった」と話した。

(根尾文悟)